

2026年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2025年10月31日
(証券コード6157)

目次

2026年3月期2Qの業績

P. 3	．．．	第2四半期決算（累計）の概要
P. 4	．．．	営業利益の減益要因
P. 5	．．．	損益計算書サマリー
P. 6	．．．	貸借対照表サマリー
P. 7	．．．	業績推移

2026年3月期の業績予想

P. 14	．．．	業績予想
P. 15	．．．	配当予想

参考資料

P. 17	．．．	新製品情報
P. 18	．．．	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 19	．．．	投資指標
P. 20	．．．	株価推移とバリュエーション
P. 21	．．．	I R 情報サイトのご案内

2026年3月期 第2四半期の業績



第2四半期決算（累計）の概要

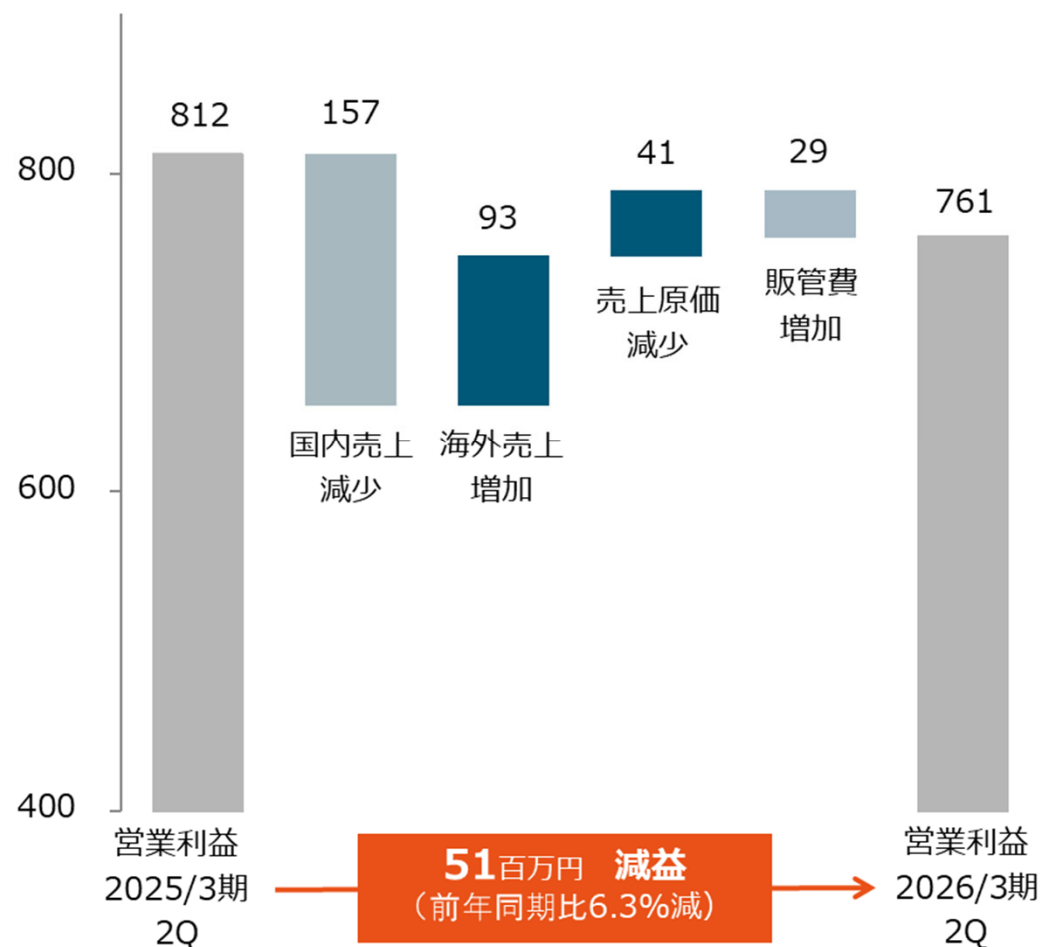
前年同期に比べ減収・減益
通期予想を下方修正

(単位：百万円)	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	2026年3月期 通期予想	進捗率
売上高	4,654	4,591	9,140	50.2%
前年同期比	+5.4%	-1.4%	-3.1%	
営業利益	812	761	1,310	58.1%
前年同期比	+8.1%	-6.3%	-25.9%	
経常利益	814	783	1,330	58.9%
前年同期比	+5.9%	-3.8%	-25.3%	
四半期純利益	568	543	940	57.9%
前年同期比	+12.0%	-4.3%	-25.7%	

- 国内では、半導体や電子部品・デバイス関連は、AI関連やデータセンター向け需要に牽引され一部で需要が堅調に推移したが、自動車関連は、米国関税問題の影響を受け、輸出向け金型案件の延期や停止等により工具需要は低調となった。一方海外では、中華圏を中心にEVやスマートフォン関連の受注が概ね好調に推移した。
- 連結売上高は4,591百万円と、前年同期比1.4%の減少となった。
- 連結経常利益は783百万円と同3.8%の減少。売上高経常利益率は17.1%と同0.4ポイント低下。
- 下期にかけても工具需要は大きく好転しないと見込まれるため、通期業績予想を修正。（P.14参照）

営業利益の減益要因

(百万円)



- 売上高は国内が前年同期比157百万円、5.0%減少、海外は同93百万円、6.2%増加した。売上高全体では同63百万円、1.4%の減少となった。
- 製造原価が若干減少し、売上原価は同41百万円、1.9%減少した。
- 販管費は同29百万円、1.8%の増加となった。前年同期に製品カタログの改訂費用が発生していたため販売費は同9.9%減少したものの、人件費が増加した。
- これらの結果、営業利益は同51百万円、6.3%減少し761百万円となり、売上高営業利益率は16.6%と0.9ポイント低下した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
売上高	4,654	4,591	-1.4%
売上総利益 対売上高比率	2,447 52.6%	2,425 52.8%	-0.9%
販管費 対売上高比率	1,634 35.1%	1,664 36.2%	+1.8%
営業利益 対売上高比率	812 17.5%	761 16.6%	-6.3%
経常利益 対売上高比率	814 17.5%	783 17.1%	-3.8%
四半期純利益 対売上高比率	568 12.2%	543 11.8%	-4.3%
設備投資額	67	421	+525.1%
減価償却費	306	290	-5.2%
従業員数（人）	361	369	+2.2%

- 売上高は4,591百万円と前年同期比1.4%の減少。国内では米国関税の影響を受けた自動車関連で低調となった。一方で中華圏・一部アジア向けは好調に推移した。
- 売上総利益は売上高の減少により、2,425百万円と同0.9%減少したものの、売上総利益率は52.8%と同0.2ポイント上昇。
- 販管費は人件費等の増加等に伴い、同1.8%増加し、売上高販管費比率は36.2%と同1.1ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同6.3%減少の761百万円、売上高営業利益率は16.6%と同0.9ポイント低下した。
- 設備投資額は、421百万円で計画通りの進捗。前期設備投資額が少なかったことから、減価償却費は同5.2%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2025年 3月期末	構成比	2026年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	13,791	69.2%	13,665	68.6%	-0.9%
現金及び預金	9,868	49.5%	9,852	49.4%	-0.2%
受取手形及び売掛金	1,393	7.0%	1,377	6.9%	-1.1%
棚卸資産	2,308	11.6%	2,330	11.7%	+1.0%
II 固定資産	6,150	30.8%	6,265	31.4%	+1.9%
有形固定資産	4,842	24.3%	4,929	24.7%	+1.8%
無形固定資産	15	0.1%	29	0.1%	+82.2%
投資その他の資産	1,292	6.5%	1,306	6.6%	+1.1%
資産合計	19,941	100.0%	19,930	100.0%	-0.1%
(負債の部)					
I 流動負債	1,301	6.5%	1,129	5.7%	-13.2%
買掛金	213	1.1%	216	1.1%	+1.2%
II 固定負債	224	1.1%	219	1.1%	-2.2%
負債合計	1,526	7.7%	1,349	6.8%	-11.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	18,221	91.4%	18,386	92.3%	+0.9%
純資産合計	18,415	92.3%	18,580	93.2%	+0.9%
負債・純資産合計	19,941	100.0%	19,930	100.0%	-0.1%

流動資産

法人税等や賞与の支払により現金及び預金が減少したこと等から前期末比0.9%減少。

固定資産

設備投資を実施したことにより有形固定資産が増加し、同1.9%増加。

負債

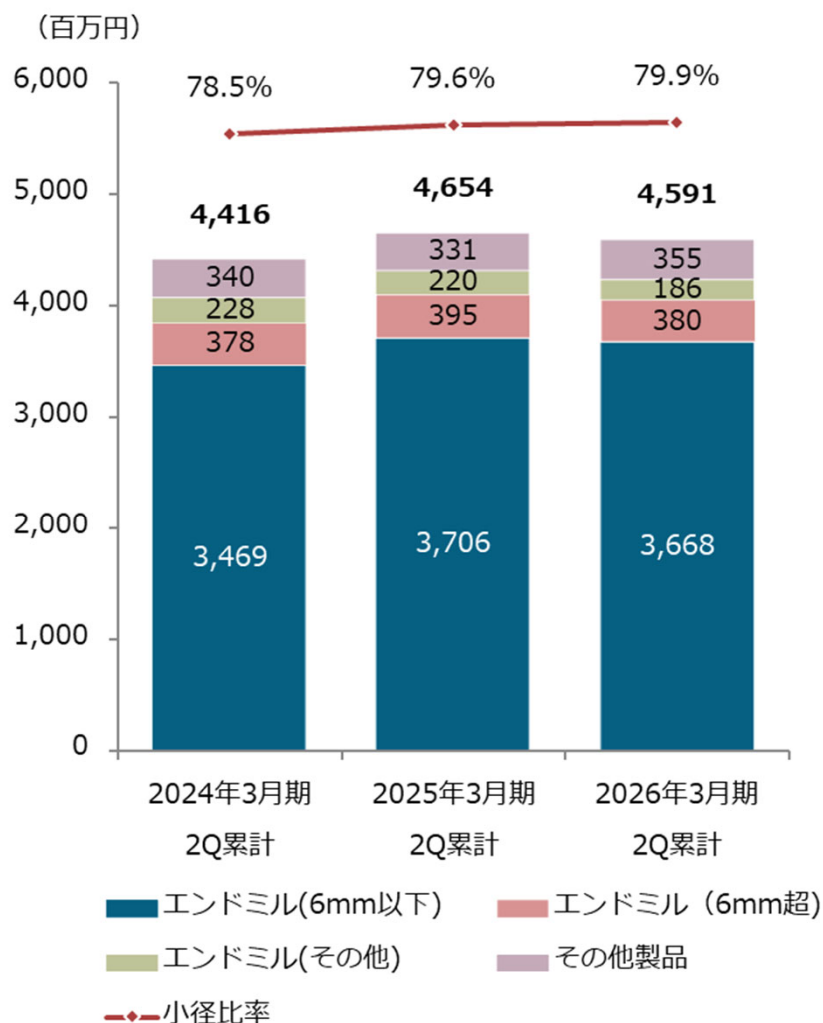
役員賞与引当金及び賞与引当金の減少等により、同11.6%減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同0.9%増加。負債の減少もあり自己資本比率は92.3%と同0.9ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移① 製品別）

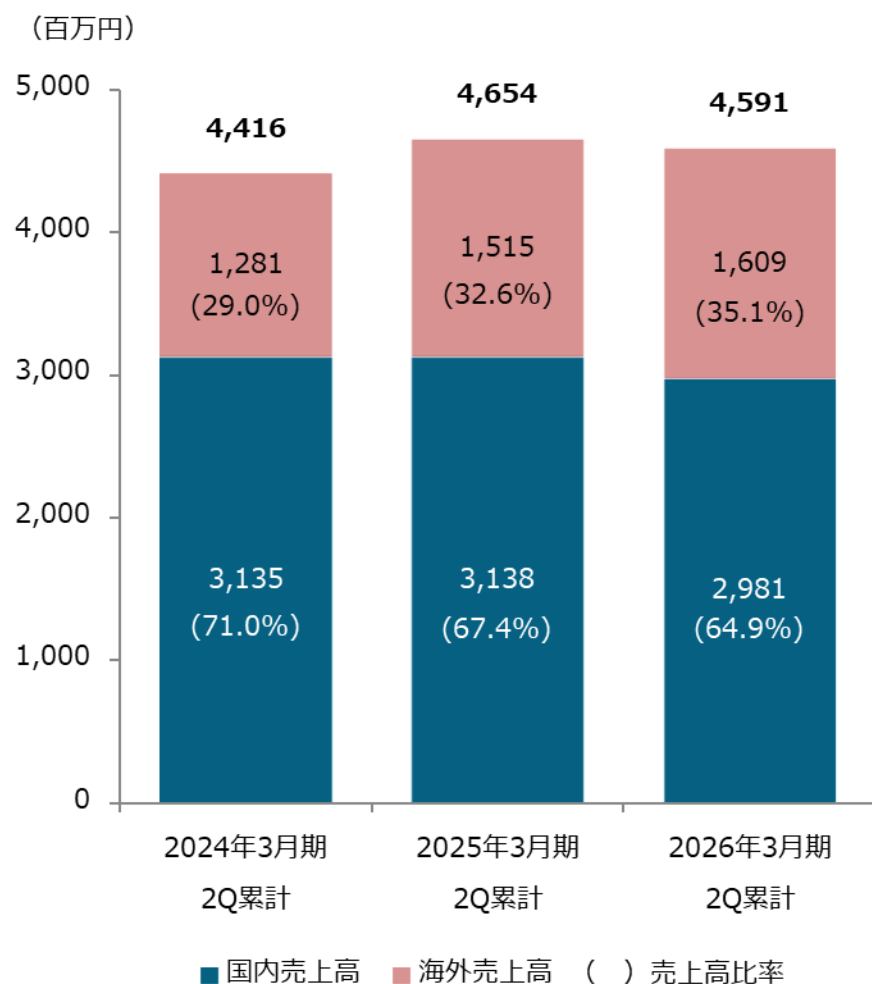
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前年同期比1.0%の減少、エンドミル（6mm超）は同3.8%の減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同15.5%減少し、工具ケース等のその他製品は同7.4%増加した。
- 売上高4,591百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が3,668百万円となっており、小径比率は79.9%と同0.3ポイント上昇、高い水準を維持している。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

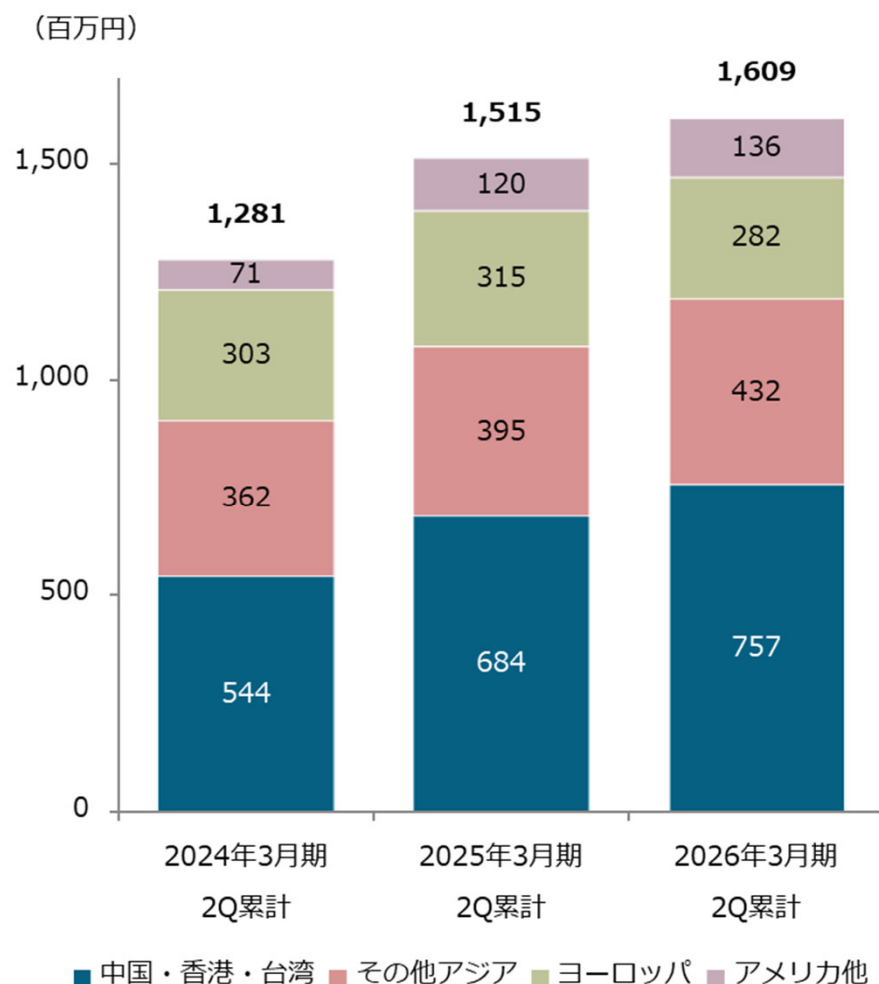
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比157百万円、5.0%減少し2,981百万円となった。海外売上高は同93百万円、6.2%増加し1,609百万円であった。
- 国内は特に自動車関連での需要が低調となり減少した一方、海外向けは、中華圏やタイ、インド、ベトナムなどのアジアで好調だった。中国からの生産移管もあり、その他アジア地域で売上が伸びてきている。
- 海外売上高の増加により海外売上高比率は前年同期比2.5ポイント上昇し35.1%となり、半期ベースで過去最高の比率となった。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

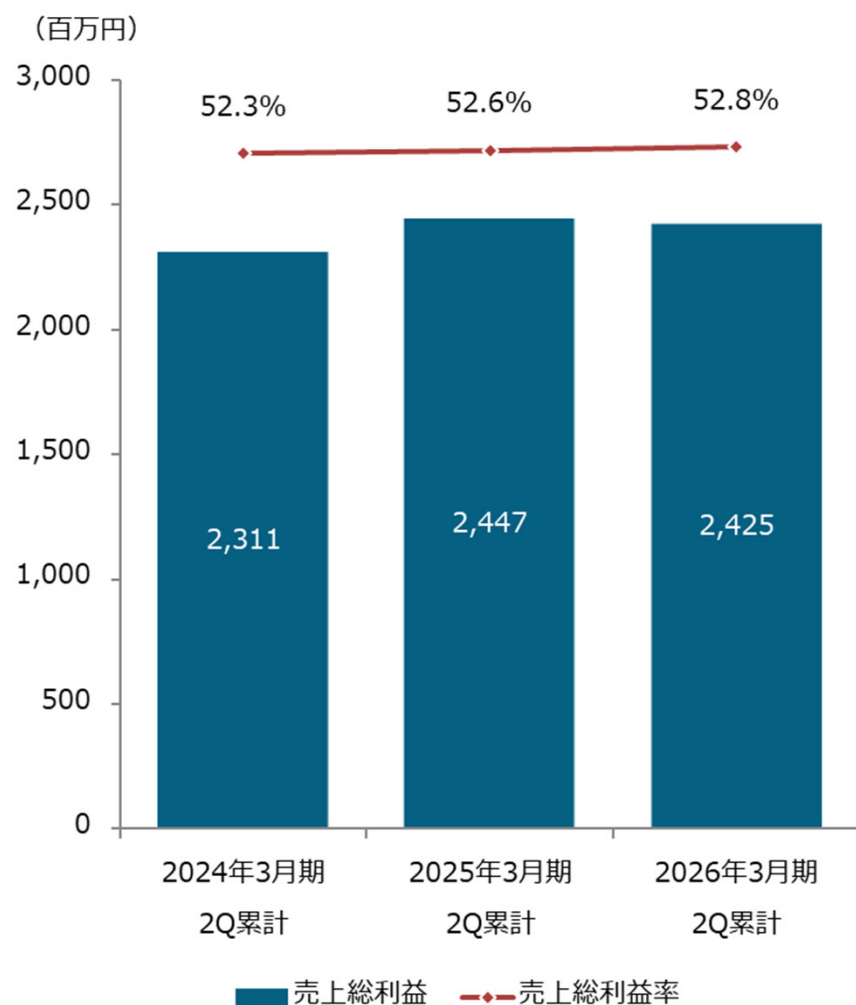
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比10.8%増加し757百万円。日進工具香港の連結にからみ当上期累計の中国向けの数字は1-6月分。スマートフォン関連が好調となった。市況は大きく好転していないが好調な光学・EV関連の大手ユーザーの受注もあり売上が増加した。
- その他アジアは同9.5%増加の432百万円、半期ベースでは過去最高の金額となった。タイでは自動車関連やデータセンター関連で好調となった。インドは引き続き好調、加えてベトナムが回復傾向となっている。
- ヨーロッパは市況が回復せず、ドイツ、イタリアの自動車関連を中心に低調となり、同10.5%減少の282百万円。
- アメリカ他は同13.0%増加の136百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-6月分。関税引き上げの前に駆け込み需要があった。

業績推移（売上総利益の推移）

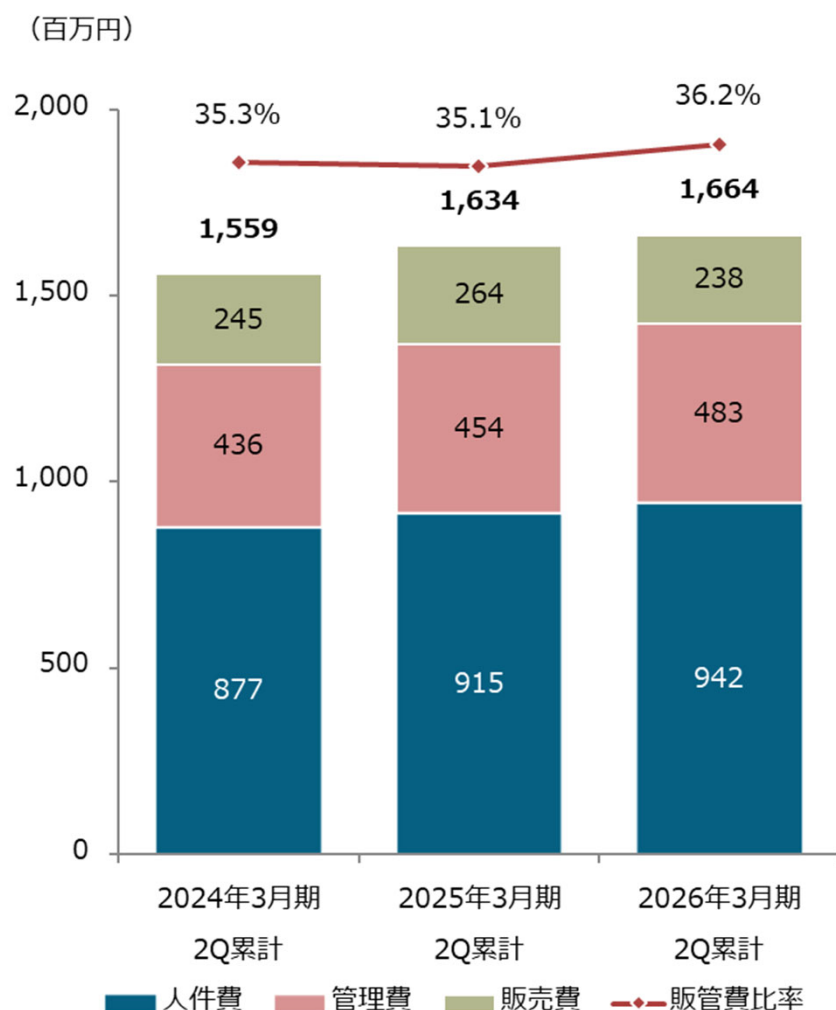
売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費は前年同期比2.2%増加、外注加工費は価格の見直し等により同13.5%増加した一方、製造経費は工場消耗品費や製造減価償却費の減少により同6.3%減少し、当期製品製造原価は若干減少した。
- 売上高は同1.4%減少したものの、生産量は維持。適正な生産計画の策定と製品在庫管理を行ったこともあり、売上原価は同1.9%減少した。
- 売上総利益は同0.9%減少し2,425百万円となったが、売上総利益率は52.8%と同0.2ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

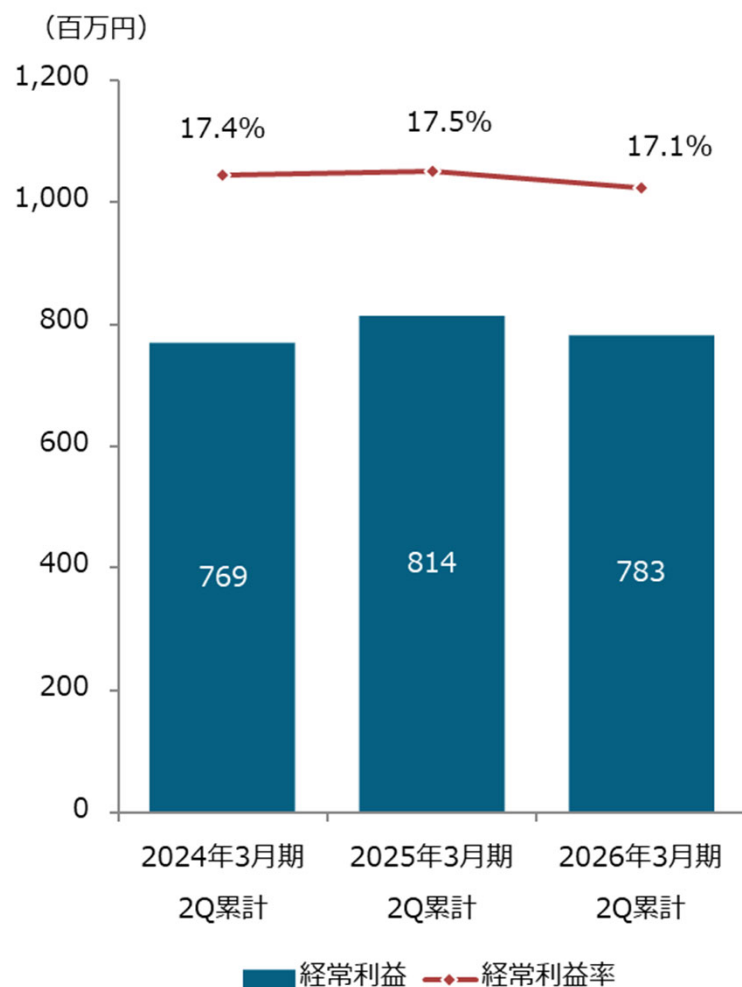
販管費と販管費比率の推移



- 9月に欧州で開催されたEMOへの出展に伴い展示会費が増加したものの、前年同期は製品カタログ改訂費用が発生していたことから広告宣伝費が減少し、販売費は前年同期比9.9%減少の238百万円。
- 人件費は、賃上げに伴う給与の増加等により、同3.0%増加し942百万円。
- 販管費全体では同1.8%増加の1,664百万円となり、売上高販管費比率は36.2%と同1.1ポイント上昇した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 減収及び販売管理費の増加により、営業利益は前年同期比6.3%減少し、761百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益や為替差益等により営業外収益が21百万円上回り、経常利益は783百万円、同3.8%の減少。
- 売上高経常利益率は17.1%と前年同期に比べ0.4ポイント低下した。

2026年3月期の業績予想



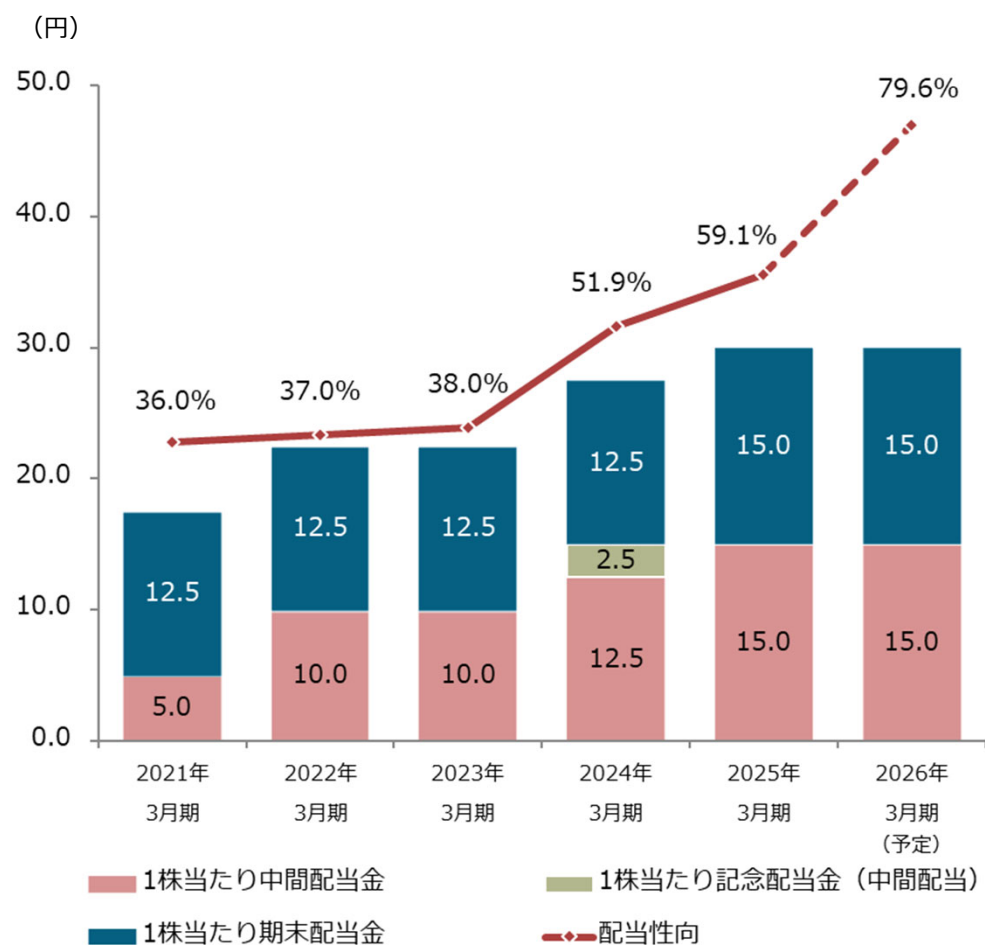
業績予想

(単位：百万円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	前期比 増減率	期初 通期予想
売上高	9,431	9,140	-3.1%	9,680
営業利益	1,767	1,310	-25.9%	1,740
経常利益	1,779	1,330	-25.3%	1,750
当期純利益	1,264	940	-25.7%	1,200
設備投資額	111	882	+693.5%	882
減価償却費	644	635	-1.3%	655
E P S (円)	50.80	37.69	-25.8%	48.20
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—	30.00

- 上期において、米国関税問題の影響や新車開発案件の回復の遅れから国内の自動車関連向け需要が低調となり減収となったが、下期にかけても需要は大きくは好転しない見込み。また、好調に推移している中華圏向けでは、中国国内で政府からの自国製工具への切り替え圧力が強まっていることから、中国向け売上の下振れが懸念される。以上により、通期業績予想の下方修正を実施。
- 加えて、原材料の値上がりや賃上げによる労務費の上昇等により製造コストは今後も高止まりする見込みとなっているため、営業利益、経常利益ともに減益の予想。
- 設備投資は期初予想より変更なし。新規設備導入と継続的な生産設備の更新を実施予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円を予定。

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円。
手元流動性が増加しており、株主還元強化のため増配。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績に対する配当性向は59.1%
- 2026年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績予想に対する配当性向は79.6%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

参考資料



新製品 『MTNH430R』 / 『DHS340・DHS340F』

無限コーティングプレミアム

4枚刃テーパーネックラジアスエンドミル

『MTNH430R』 (2025年7月)

- ✓ テーパーネック形状に加え、首元径を太くし工具剛性を高め、
高硬度鋼の切削でも工具の倒れを抑制
⇒加工精度が安定
- ✓ 4枚刃仕様で高能率加工を実現



銅電極加工用ニック付き3枚刃スクエアエンドミル

『DHS340・DHS340F』 (2025年8月)

- ✓ 外周刃の特殊ニック形状+強ねじれ
⇒切りくずの排出性と切削性が向上
- ✓ ファインピッチタイプニック形状は
切りくずがより細くなり、
切削負荷が減少



DHS340
スタンダードタイプニック形状



DHS340F
ファインピッチタイプニック形状



従来品



DHS340



DHS340F



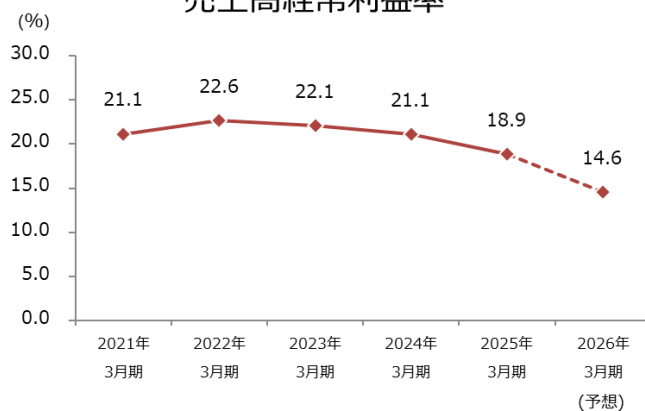
過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績
売上高	8,100	9,524	9,656	9,040	9,431
営業利益	1,512	2,111	2,108	1,867	1,767
営業利益率	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%
経常利益	1,712	2,156	2,131	1,908	1,779
経常利益率	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%
当期純利益	1,214	1,522	1,475	1,320	1,264
当期純利益率	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	15,326	16,165	17,200	17,729	18,415
総資産額	16,936	17,874	18,857	19,241	19,941
自己資本比率	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%
設備投資額	462	659	686	563	111
減価償却費	707	692	669	627	644
1株当たり配当金（円）	17.50	22.50	22.50	27.50	30.00
従業員数（人）	339	348	352	350	358

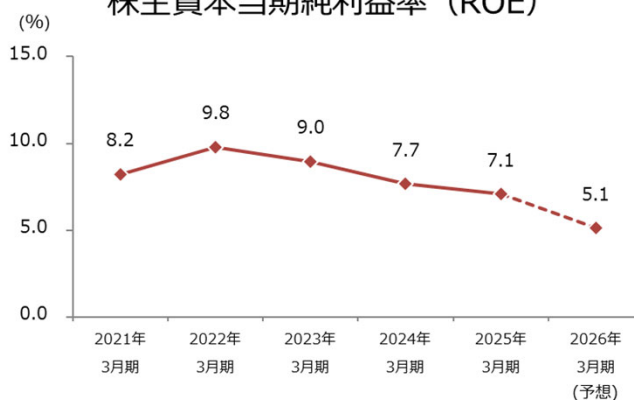
※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標

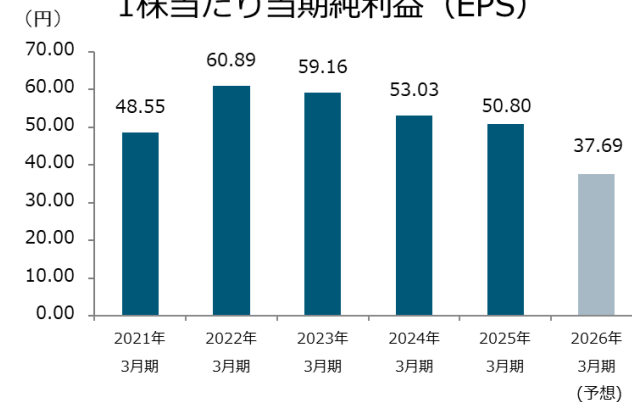
売上高経常利益率



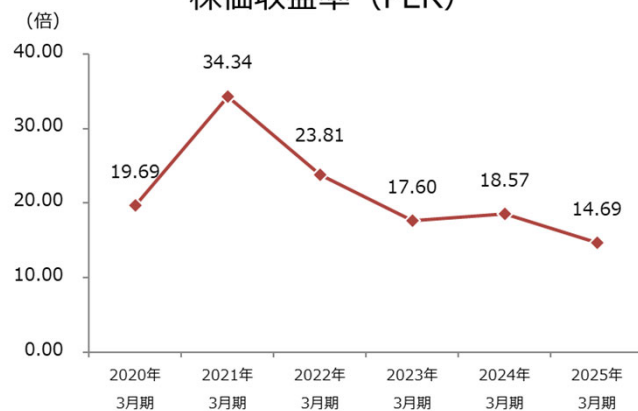
株主資本当期純利益率 (ROE)



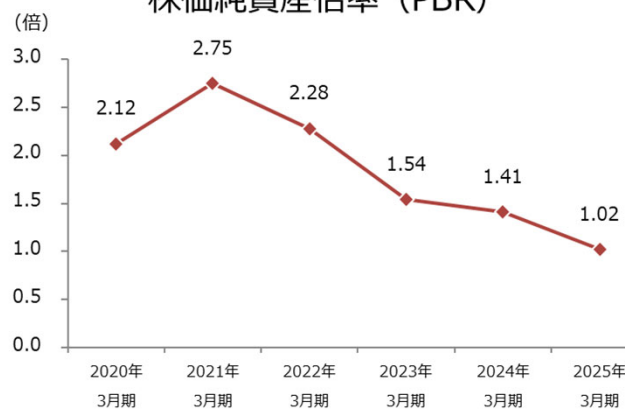
1株当たり当期純利益 (EPS)



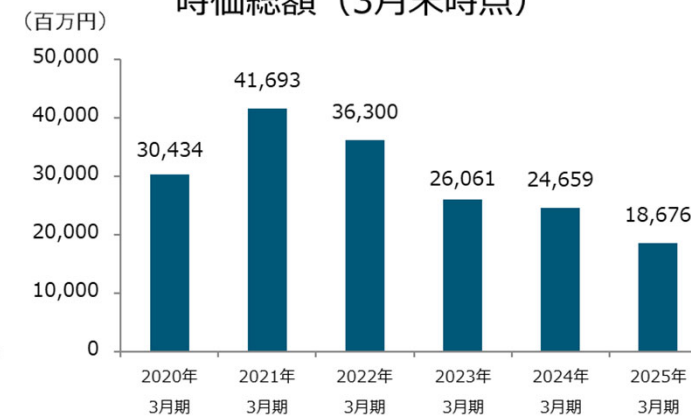
株価収益率 (PER)



株価純資産倍率 (PBR)



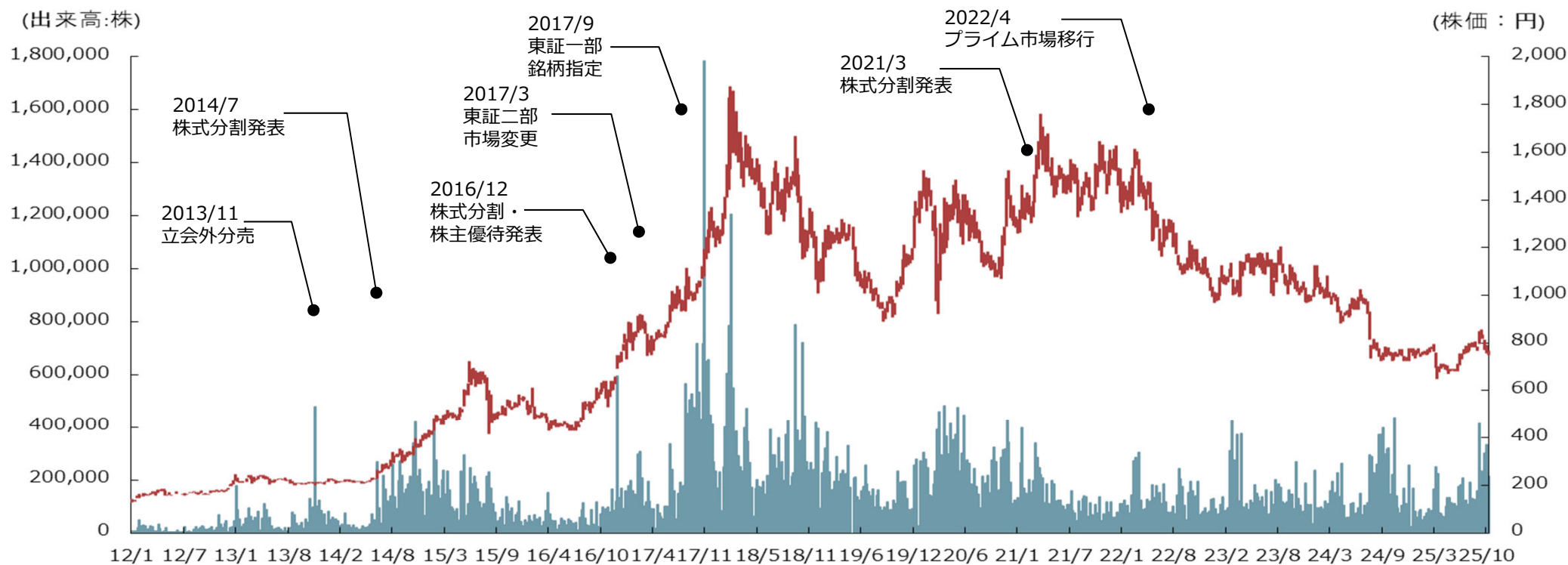
時価総額 (3月末時点)



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2025年10月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2025年10月28日現在）

売買単位	100株
時価総額	197億円
ROE (25/3期実績)	7.1%

単元株価格	7万8,700円
P E R (26/3期予想)	20.88
P B R (25/3期実績)	1.08倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内



IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。